



次世代との交流会を開催しました！

1月30日（金）に、次世代との交流会を開催し、38名が参加しました。

○生協の活動紹介 パルシステム千葉、コープみらい、生活クラブ、



生協の
みなさん

千葉県生協連が学生に伝えたい生協の活動について紹介しました。1団体4分という短い時間で、生協の活動を知らない学生に何をどう伝えるのか、それぞれの生協がポイントを絞り、工夫を凝らしていました。



プログラム

- 10:00 開会・主催者挨拶
- 10:05 生協の活動紹介
- 10:25 学生団体紹介
- 11:25 昨年度の団体とのつながり報告
- 12:05 昼食(交流)
- 12:40 ワールドカフェ形式での交流
テーマ「一緒にできること」
- 13:40 全体共有
- 14:00 終了

○学生団体の活動紹介

・フリースペース W (wara) 千葉市若葉区都賀コミュニティセンターで、毎月2回、中高生の居場所づくりをしています。中学生と高校生、大学生という異年齢の交流がおこなわれ、訪れる中高生は、思い思いに時間を過ごしています。わたしたちは、中高生たちがまた来たいと思えるような居場所づくりをめざして活動しています。

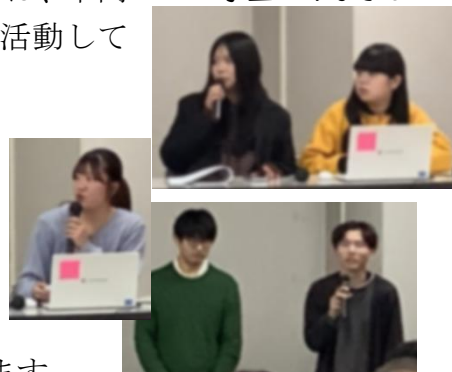
・NPO 法人 B-Net 子どもセンター 子どもたちの健やかな育成や、まちの活性化に寄与しながら子どもたちが安心して過ごせる居場所づくりを目的として、大学生が中心となり、酒々井町で活動しています。放課後の居場所開催、酒々井町からの委託の放課後子ども教室の実施や、子ども食堂の運営。毎月のイベント開催や情報紙「アッタくん」を毎月発行しています。

・千葉大援農お宝発掘隊 千葉大松戸キャンパスを拠点として、地域農家への援農や、農業関係人口を増やすことを目的に活動するほか、大学内での圃場で、環境負荷の低い土づくりから始めている農作業もおこなっています。また、援農をおこなう全国の大学サークルと連携して広報誌の発行や情報交換、若年層への農業のイメージアップ活動、また行政との意見交換などもおこなっています。

○昨年度の団体とのつながり報告

昨年の開催後に学生団体と生協とが関係のあった事例を報告してもらいました

学生のみなさん



・西千葉学生支援 (Food Aid In Nishichiba)

交流会後に解散が決まっていた FAN が、社会人支援者を中心に学生の有志も加わり活動を開始。支援物資は企業や個人からの寄付と千葉市社協からの提供品が中心。千葉市社協からの支援物資に、コープみらいが千葉市社協に提供しているお米も含まれています。毎回アンケートをおこない、学生の現状や必要な支援を把握するようにしています。



・パルシステム千葉 現在地域の課題解決のために、淑徳大学、江戸川大学と連携して活動をおこなっています。また昨年の交流会の参加団体の東邦大学 TOHO ボランティア部とは、どのような形で関係を作れるかを検討し、パル千葉が支援している子ども食堂がおこなう学習支援の取り組みについて打ち合わせをおこない、習志野市の子ども食堂の企画で科学実験教室を開催しました。

○ワールドカフェ形式での交流 昼食後は、「一緒にできること」というテーマで話し合いました。生協の参加者は 20 分ごとにテーブルを移動し、多くの学生とテーマについて話をしました。



参加者アンケートより（一部抜粋）

〈学生〉・関わる機会のない団体や学生と話すことで自分たちの団体の課題だけでなく、良いところも発見し活動に自信がもてました。・外部との繋がりがあまりなかったので、活動を知ってもらい、たくさんの助言や意見をいただけたことは団体として大きな収穫だった・このような交流できる機会を設けていただけたら嬉しいです。・自分たちの活動をよりよくしていくための案をいただいたり、他団体の活動を学んだり大いに刺激を受けました。

〈生協〉・学生の活動でも情報を伝えることが課題ということで、同じ課題を抱えているので情報交換などできるといい。・学生と一緒に回ったのがよかった。・このような企画は継続して欲しい。次年度は新たな団体でもいいし、「その後」の活動も聞いてみたいです。・学生の社会課題解決に向けての活動が心強く感じました。・昨年の報告団体の FAN の解散が気になっていたのもその後を知ることができて良かったです。・大学生だけでは抱えきれないような取り組みは、地域との繋がりが必要だが学生から声をあげにくい状況がよくわかりました。・助成金情報しっかり伝えます。